

2026年3月30日

各位

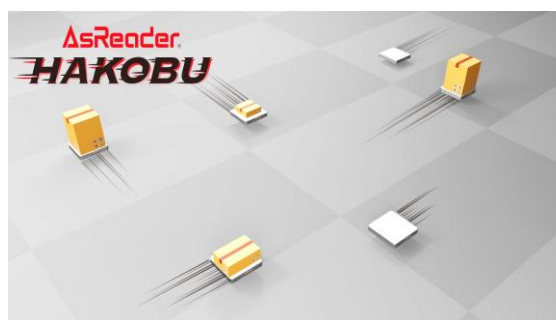
会社名 株式会社 アスタリスク
代表者名 代表取締役執行役員社長 鈴木規之
(コード番号:6522 東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員管理統括室長 太田尚友
ir@asx.co.jp

「浮かぶ搬送」アスタリスク、次世代リニア搬送システムを発表 ～コンベアの次を狙う“浮かぶ搬送”という新しいインフラ「AsReader “HAKOBU”」～

株式会社アスタリスク（本社：大阪市、代表取締役執行役員社長：鈴木 規之、以下「当社」）は、搬送体が浮上して移動する、新しいリニア搬送システム「AsReader HAKOBU（アズリーダーハコブ）」のコンセプトモデルを発表いたします。

「AsReader HAKOBU」は、当社がこれまで研究開発してきたリニアモーター技術を発展させ、搬送体が浮上しながら走行する新しい搬送方式を採用しています。

物流・工場・店舗など、様々な現場で使われているコンベアや台車などの搬送手段に対し、「浮かぶ搬送」という新しい選択肢を提示する技術です。人手不足が深刻化する中、「AsReader HAKOBU」は様々な現場の自動化を支える搬送インフラとしての社会実装を目指してまいります。



リニアモーター技術を活用した搬送ロボットシステム「AsReader HAKOBU（アズリーダー ハコブ）」※上記はイメージ画像

1. 製品の概要

「AsReader HAKOBU」の最大の特徴は、搬送体が浮上して移動する構造であります。

搬送体がレールに接触しないため、「摩擦を大幅に低減」「重い荷物でも小さな力で搬送」「摩耗部品が少なく保守性が高い」といった特徴を持ちます。

また、「AsReader HAKOBU」はバッテリーに依存しない給電型システムのため、冷凍倉庫、冷蔵物流、食品工場などの低温環境でも安定稼働が可能であります。

2. 物流・店舗・工場の自動化インフラとして展開

「AsReader HAKOBU」を以下の用途で展開することを想定しています。

- ・物流倉庫の自動搬送
- ・工場の工程間搬送
- ・冷凍・冷蔵物流
- ・飲食店の配膳搬送
- ・店舗オペレーションの自動化

人手不足が深刻化する中、「AsReader HAKOBU」は様々な現場の自動化を支える搬送インフラとしての活用を推進してまいります。

3. 2026年 実証実験を予定

「AsReader HAKOBU」は現在コンセプト段階でございますが、当社は2026年中に実証実験の場を設ける予定です。

また、次の展示会で公開予定です。

- ・第7回 関西物流展

会期：2026年4月8日（水）から10日（金）

会場：インテックス大阪

物流・マテリアルハンドリングの最新技術が集まる西日本最大級の展示会

- ・米国・アトランタで開催「MODEX 2026」

会期：2026年4月13日（月）から16日（木）

会場：ジョージア・ワールド・コンGRESS・センター（アメリカアトランタ）

北米最大級の物流・サプライチェーン展示会で、世界の物流・自動化企業が参加

4. 今後の展望

当社は、RFIDやIoTを活用した自動化ソリューションを展開しており、「AsReader HAKOBU」を次世代搬送プラットフォームとして開発を進めてまいります。

物流・製造・店舗などの分野で進む自動化ニーズの高まりを背景に、当社は搬送とデータを融合した新しい自動化インフラの構築を目指してまいります。

■リニアモーター技術を活用した搬送ロボットシステム「AsReader HAKOBU（アズリーダー ハコブ）」

製品 URL：<https://asreader.jp/lp/hakobu>

製品紹介動画 URL：https://www.youtube.com/watch?v=oMjedjE_XOc

以上